

**令和5（2023）年度第1回柏崎市福祉有償運送運営協議会
（議事要旨）**

- 1 開催日時 令和5（2023）年12月19日（火）午後2時から午後2時50分まで
- 2 開催場所 柏崎市役所1階 多目的室
- 3 出席者 <委 員>
青木会長、佐塚委員、村山委員、佐藤良幸委員、佐藤浩美委員、山崎委員、
中川義昭委員
<事務局>
介護高齢課：尾崎課長、真貝課長代理、山崎主査、金子主事

- 4 議事結果
・令和4（2022）年度福祉有償運送事業実施状況について、全会一致で承認された。

- 5 会議資料 資料1 柏崎市福祉有償運送運営協議会委員名簿
資料2 柏崎市の福祉有償運送について
資料3-1、2 令和4（2022）年度福祉有償運送事業実施状況一覧

6 会議内容

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (3) 福祉有償運送について
昨年と変更がないため、説明は省略とした。
- (4) 議事
令和4（2022）年度福祉有償運送事業実施状況
資料に基づき事務局が説明。

【質疑応答】

A委員： 福祉有償運送利用者に透析患者がいるが、どのようにして福祉有償運送団体と利用者がつながるのか。

事務局： 透析患者の多くは総合医療センターを利用しており、医療センター職員からの紹介であると考え。

この他、福祉課や介護高齢課など市役所窓口で相談があった際に市職員が紹介していることや、透析患者の団体内で福祉有償運送について周知していることから、団体と利用者がつながるものと考え。

B委員： 他の市町村でも同様の協議会があり、会議に参加している。どの地域でもタクシーやバスの運転手不足の話題が上がる。福祉有償運送の運転手はどうか。

C委員： 運転手の確保は切実である。NPO法人のため、働いて稼ぐというよりボランティアであることから、現役世代の方には収入が少なく、成り手を見付けづらい。現役を退いた方が働いてくれるが、数年でリタイアとなる。その後の担い手がいないため、重要な問題と捉えている。

B委員： せっかくの会であるため、人の確保等を話し合う場として活用し

てほしい。

- D委員： 介護タクシー事業を行っている。
 じんのかぜは1人で運送を行っているが、その人が急に対応できないとなった際、どうするのか決まっているのか。
- 事務局： ケアマネに依頼して介護タクシーを利用していただいたり、市が交付しているタクシー券が年間100枚あるため、それを利用して何とかしていただいている。
- D委員： 事業者間で今日行けないから代わりに行ってほしいといったやり取りがあり、助け合っている。ガソリン代や人件費の高騰のほか、福祉タクシーは車両自体に費用が掛かる。行政が補助した方がいいのではないか。
 また、国への要望として、タクシー料金を上げてほしい。
 生活が成り立たないから人手不足が起きるのではないかと。
- E委員： 弊社も人手は足りていないが、いまいる人員の中で上手く回している。介護タクシーを行うか問合せもあるが、車両や人手の問題で行わないという回答しかできない。
 福祉有償運送の料金の低さには驚いている。
- A委員： 福祉有償運送、タクシー事業者どちらも人手不足が問題であることが分かった。しかし、現役を引退した人など、人がいないわけではなく、団体（事業者）と働き手がつながらない状況にある。
- C委員： 立ち上げ時に行政、タクシー業界と時間を掛けて話し合った。悪く言えばお客様の取り合いになってしまう。その中で、タクシー料金の半額ということで折り合いをつけた。
 行政の支援が充実してくると利用者が減少してくる。しかし、これは喜ばしいことである。我々は、行政の支援が充実するまでのつなぎであると考え団体を立ち上げている。
- B委員： 福祉有償運送の利用料金について、タクシー料金の1/2というのは目安であるため、利益が発生しないのであれば改定しても問題ないとする。
 運転手の人手不足については国交省としても問題視している。
 人を運ぶことの重さでやらないという人もいるのではないかとと思う。
- F委員： 福祉有償運送はドライバー登録制とある。ライドシェアと似ていると思った。また、利益を生まないとあるため、大変だと思った。
- B委員： ライドシェアについて直近で新聞記事が掲載されたが、記事で書かれているよりも実際は進んでいない。
 運送については安全性の担保が必要であり、顧客の取り合い、そこから低価格競争に発展しかねない。
- G委員： 白ナンバーで人を運ぶということは福祉有償運送と一緒にある。
 柏崎市の人口は減少傾向にある。そのような中で、人の輸送は福祉有償運送があれば、というように何か一つがあればいいというわけではない。バス、タクシー、介護タクシー、行政等、力を重ねて隙間を埋めていかないといけない。
- A委員： 外出目的の一つが買い物である。若い世代はボタン一つで物が届くことに慣れているが、高齢者はそれになじめておらず取り残され

ている。便利を追求したことにより逆に不便になっている現状がある。

今後も意見交換の場として、協議会を続けていきたい。

【採決】

全会一致で承認された。

7 その他（事務局より連絡）

- ・福祉有償運送団体NPO法人「柏刈助け合い ちょこっと」の法人解散について報告
- ・NPO法人北条人材バンクが来年度登録更新である旨の事前案内
- ・福祉有償運送協議会委員が3月末で任期満了となるため、来期の委員選出について依頼

8 閉会